

長野市埋蔵文化財センター

私たちが暮らしている地面の下には、竪穴住居跡や土器・石器などが眠っている遺跡が、長野市内で1107ヶ所もあります。しかし、現代の暮らしに必要な開発 工事のなかには、これらの遺跡を現状のまま保護することができないケースもあ

り、やむをえず発掘調査を実 施して記録として保存するこ とになります。

長野市埋蔵文化財センターでは、平成30年度に市内6遺跡で発掘調査を行いました。この速報展では、これら消えゆく運命にある遺跡たちの最後の姿をご覧いただきたいと思います。また史跡整備事業として実施している松代城跡や大室古墳群の発掘成果もご紹介いたします。この機会に貴重な郷土の歴史を感じていただければ幸いです。



平成30年度の調査遺跡

平成30年度の発掘調査一覧

遺跡名	所在地	起因事業	調査面積	調査期間
御所遺跡 一街路地点一	中御所二丁目	区画整理事業	113 m ²	H30. 4.9 ∼ 4.17
御所遺跡公園地点	中御所二丁目	区画整理事業	977 m ³	H30.9.13 ~ 12.25
上ヶ屋遺跡	上ヶ屋	歩道整備事業	113 m ²	H30.5.14 ~ 7.12
西方遺跡	高田西方	共同住宅新築工事	202 m	H30.5.7 ~ 5.23
中堰遺跡	小島岡田	分譲地造成事業	101 m	H30.12.4 ~ 12.28
後町遺跡	鶴賀問御所町	沿道整備街路事業	616 m ²	H30.11.26~調査中
清水原古墳群	若穂綿内	農地整備事業	110 m ²	H30.11.26 ~ H31.1.25
松代城跡	松代町松代	史跡整備事業	400 m	H30.10.12 ~ 12.10
大室古墳群	松代町大室	史跡整備事業	50㎡(予定)	H31年3月(予定)

■長野考古学年表

時代		全国のできごと	長野のできごと	代表的な遺跡(地区)
3万年前	旧石器/	・大陸から大型動物が渡ってくる ・局部磨製石斧が盛んに使われる ・気候が寒冷化、海水面低下 ・細石器が普及する	・人類の痕跡が確認できる	上ヶ屋遺跡 (芋井)
1万年前		・土器の使用が開始 ・石鏃が普及する	・山間部に遺跡が多く分布する	荷取洞窟遺跡(戸隠)
5000年前	縄文	・気候が温暖化、海水面上昇 ・集落の定住性が強まる	・自然堤防上に居住域が拡大	松ノ木田遺跡(浅川) 松原遺跡(松代) 檀田遺跡(若槻) 宮遺跡(中条)
2500年前		・各地で大規模な集落ができる ・北部九州に水田稲作が伝わる	・中部高地で遺跡数が激減	吉田古屋敷遺跡(吉田) 宮崎遺跡(若穂)
		・鉄器や青銅器の使用が始まる		
2000年前	弥 生	・57 年 倭の奴国王が後漢より 金印を授かる	本格的に水田稲作が始まる長野盆地に環濠集落が出現	塩崎遺跡群(篠ノ井) 松原遺跡(松代) 吉田高校グランド遺跡(吉田)
		・倭国大乱	・千曲川流域に箱清水式土器が分布	篠ノ井遺跡群(篠ノ井)
		・239年 卑弥呼が魏に使いを送る ・大和政権が成立し前方後円墳が つくられ始める	・北陸や東海地方の土器が流入・森将軍塚古墳がつくられる	長野女子高校校庭遺跡(長野)
	古墳	・朝鮮半島から須恵器が伝わる ・478 年 倭王武が中国の南朝に		川柳将軍塚古墳(篠ノ井) 中俣遺跡(柳原) 地附山古墳群(長野) 本村東沖遺跡(長野)
1500年前	换	使いを送る	・各地で群集墳が形成される ・前方後円墳がつくられなくなる	大室古墳群(松代) 榎田遺跡(若穂)
		・仏教が日本に伝来 ・593 年 聖徳太子が摂政になる ・646 年 大化の改新	・東山道に科野国が成立する	元善町遺跡(長野)
	·奈良	・710 年 平城京へ遷都		塩崎遺跡群(篠ノ井) 県町遺跡(長野)
1000年前	古: 代: _{平安}	・794 年 平安京へ遷都	・大室牧が設置される ・841 年 信濃国で地震 ・888 年 仁和の大洪水	高野遺跡 (若穂) 南条遺跡 (若穂)
2000 , 100		・1016 年 藤原道長摂政になる ・源氏と平氏が台頭する		南宮遺跡(篠ノ井)
		・1185 年 鎌倉幕府が開かれる ・1338 年 室町幕府が開かれる		善光寺門前町跡(長野)
500年前	中¦ 近¦ 室町	・戦国大名が台頭する	・1400 年 大塔合戦 ・1553 ~ 64 年 川中島の戦い	栗田城跡(芹田)
	世二二	・1603 年 江戸幕府が開かれる	・1622 年 真田信之松代移封 ・1742 年 戌の満水	松代城下町跡(松代)
	i	・1867 年 大政奉還	・1847 年 善光寺地震	



御所遺跡

長野駅から徒歩8分!!住宅街に眠る中世居館

今回の調査地付近では、古墳時代から中世にわたる集落遺跡である御所遺跡と、守護所跡(中御所居館跡)とよばれる中世居館跡がほぼ同じ位置に重なっていることが知られています。今年度は長野駅東口での区画整理事業にともなって2か所で発掘調査をおこない、そのうち公園建設地点からは中世居館跡の内郭及び内堀と古墳時代~古代(奈良・平安時代)の集落跡を検出しました。

調査は各時期ごとに大きく3回に分けておこない、上層からは調査区北東の内 郭部分において約200基の小穴(柱穴跡)、土坑や溝跡、整地の痕跡などが見つ かりました。調査区南では幅11m、深さ2mの内堀が見つかり、一部改修した痕 も確認できました。また、堀のすぐ北側では大きさ10×6m、深さ2mの用途不 明の大型土坑が見つかっています。ほかに平安時代の竪穴住居跡3軒、土坑墓1 基などを検出しました。土坑墓は、大きさ1.6×1mの長方形で成人女性と推定さ れる人骨が出土しました。





さらに、平安時代中期に形成されたと推測される氾濫堆積層を50cmほど掘り進めた下層からは、竪穴住居跡1軒や古墳時代前期の土器が廃棄された土坑が見つかりました。今年度の調査では、この地の土地利用の歴史や、居館の生活の様子を知るための新たな手掛かりを得ることができました。







上ヶ屋遺跡

飯綱高原を駆けた旧石器時代の狩人

飯縄山南麓に位置する遺跡です。昭和35年に長野県の考古学者である森嶋稔さんによって発見され、これまでに3回の発掘調査がおこなわれました。今回の調査でも、旧石器時代の掻器や黒曜石の剥片などが出土しました。しかし、出土遺物の量が少なく、火を焚いた痕跡なども見られなかったため、遺跡の中心からはやや離れた場所であったと考えられます。また、縄文時代の土坑や土器、石鏃も見つかり、縄文時代の人々の生活域でもあった可能性があります。







西方遺跡

縄文時代の遺物が初めて出土!

西方遺跡は古墳時代から平安時代にかけての集落遺跡です。今年度の発掘調査では古墳時代後期から平安時代にかけての溝と土坑が見つかりましたが、住居跡がないことから、過去の調査で見つかっている集落域の端に位置していることが考えられます。また注目されるのは、土坑の中から縄文時代の石斧が見つかったことです。西方遺跡ではこれまでに見つかっていない時代の出土品であり、周辺に縄文時代の集落が存在する可能性が考えられます。







中堰遺跡

弥生時代後期の住居跡2軒と土坑、古代の土坑と溝、時期不明の大型の溝が見つかりました。大型の溝は2か所で直角に曲がり、内側の長さは20mほどです。 弥牛時代~平安時代の土器が多く出土していますが、調査区壁面の土層観察によ

り住居より後のものと 考えられます。古墳時 代の方形周溝墓の可能 性があり、今後詳しく 検討をおこないます。





後町遺跡

後町遺跡は、門前町南端の善光寺参道沿いに位置する遺跡で、道路工事着手前の試掘調査により発見されました。上層では近代〜室町時代の遺構が見つかり、とくに江戸時代後期の参道脇の溝や蔵、井戸からは当時の町屋の様子をうかがい知ることができます。また、その下層からは弥生時代中期の集落跡が見つかり、竪穴住居内から焼けた炭化木材が出土しました。





清水原古墳群

長野盆地東縁の妙徳山西麓に位置する古墳群です。事業地内に点在する石積みが古墳かどうかを調べる予備調査をおこなった結果、これまで知られていなかった古墳が1基確認されました。

見つかった古墳は、一抱えほどの石を乱雑に積み重ねた積石塚です。墳丘の一部が検出されたのみで形や規模、埋葬施設は不明ですが、石のすき間から見つかった土器から、古墳時代中期(1600~1500年前)につくられたと考えられます。





松代城跡

外堀と東三日月堀の範囲が明らかに!

松代城は松代藩真田家十万石の居城で、武田信玄と上杉謙信による「川中島合戦」の際に武田方が築いた海津城が前身と言われています。

史跡整備に向けた平成30年度の調査では、外堀や東三日月堀の正確な位置を確

認したほか、堀の堆積土から18世紀後半頃の洪水による砂層が見つかりました。この砂層付近では伊万里焼や漆器椀、木簡などの遺物が多く出土しており、木簡には藩政改革をおこなったことで有名な恩田木工民親の子、恩田内蔵之丞ほか2名の名前が記されています。





大室古墳群

明治大学発掘の遺物が30年ぶりの里帰り

大室古墳群の32基を対象に1984~1996年におこなわれた明治大学考古学研究室による学術発掘調査は、それまで不明瞭だった積石塚や合掌形石室の特質を明らかにする重要な成果を上げました。今回展示する198号墳はそのうちの1基で、1988年に調査され、出土遺物が今年長野市に移管されました。

198号墳は、大室谷支群ムジナゴーロ単位支群に属します。6世紀後半につくられた直径15~18.5mの円墳で、墳丘上部と天井石はすでに失われ、長さ6.5m、幅1.3mの横穴式石室が完全に露出しています。石室内から須恵器や土師器のほか、鉄鏃・大刀・刀子・馬具など多数の鉄製品が出土しました。



長野市埋蔵文化財センターから普及公開活動のご案内

地域の歴史学習に 遺跡を活用しませんか?



長野市埋蔵文化財センターでは、遺跡を通じて地域の歴史に親しんでいただくため、さまざまな普及公開活動をおこなっています。学校教育や生涯学習にぜひご利用ください。

講師派遣 遺物展示

申込み無料

< 主な活用事例 > 小中学校の授業や行事 高校の授業や行事 PTA活動 育成会活動 公民館活動 など

かかり 体験講座

勾玉作り・矢じり作り・火起こ しなど古代の技術を伝授します。



勾玉作りのようす

講演会

遺跡にまつわるさまざまな話題を わかりやすくお話します。

▲ 出張展示

市内から出土した土器や石器を ご希望の会場で展示します。



大室古墳群見学のようす

_{長野市文化財データベース} デジタル図鑑

ナンダル凶<u>姉</u> http://bunkazai-nagano.jp/

QRコード



スマートフォンなどで読 み取るとトップページに アクセスします。 長野市内の遺跡や文化財の情報をインターネットで発信中! 身近にある遺跡、気になる遺物を調べてみませんか?

Q 検索

時代や地区などの条件から遺跡・ 遺物が検索できます。

● キッズページ

ゲームやクイズで遊びながら遺跡 を学ぼう!

➡ 文化財ブログ

埋蔵文化財センターの最新情報 はここでチェック!

■ 刊行物の閲覧

発掘調査報告書・各種リーフレット がダウンロードできます。

第20回 長野市埋蔵文化財センター発掘調査速報展「遺跡が語る長野の歴史」

主催:長野市教育委員会文化財課 長野市埋蔵文化財センター

共催:長野市立大豆島公民館、長野市立安茂里公民館、長野市立芋井公民館

第 1 期 2月13日[水] ~ 2月25日[月] 長野市立大豆島公民館 第2期

2月27日[水] ~3月13日[水] 長野市立安茂里公民館 第3期

3月15日[金] ~3月26日[火] 長野市役所第一庁舎1階ロビー 第4期

3月28日[木] ~ 4月11日[木] 長野市立芋井公民館

長野市埋蔵文化財センター

〒381-2212 長野市小島田町1414(長野市立博物館内) 〈TEL〉026-284-0004 〈FAX〉026-284-0106 〈E-mail〉maibun@city.nagano.lg.jp